

近藤忍後援会 2007 年活動報告書

発行責任者
後援会長 江野澤政広



昨年中は選挙を含め、様々な局面で大変お世話になりました。近藤忍も議員になり八ヶ月が過ぎました。その間、様々なことがありましたので一年間をまとめて活動報告を行います。

なお、本来で有れば年頭に新年の挨拶も兼ねて行いたいところではありますが、公職選挙法の解釈が微妙なため、このような形式となったことをご理解いただければ幸いです。

後援会長 江野澤政広

1. 選挙の結果

2007 年 4 月 22 日投票の木更津市市議会議員選挙では、後援会会員の皆様のご協力により、近藤忍は 1,584 票の得票を持って当選いたしました。

その翌日の 23 日に木更津市役所で当選証書の授与があり、5 月 1 日より木更津市議会議員としての職を担っております。



2. 会派への参加

近藤忍の父である近藤富男は市政会という会派に属していましたが、選挙で解散となりました。選挙後、近藤忍を含んだ新人議員 4 人を加え 11 名の議員で、改めて **フォーラム未来** という会派が立ち上がり、**そこ**に所属して議会活動をしています。

なお、選挙後の市議会は、フォーラム未来[11 名]・正栄会[7 名]・公明党[4 名]・新栄会[3 名]の 4 会派と 3 名の無所属議員（共産党を含む）で構成されることになりました。

3. 委員会等の所属

市議会には四つの常任委員会（総務・経済環境・教育民生・建設）があり、議員はいずれかの委員会に所属しなければなりません。近藤忍は彼の専門知識が発揮できる **建設常任委員会** に配属しました。

また、議員の発議で 3 つの特別委員会（合併・基地対策・港再生）が設置され、近藤忍は地元自衛隊基地を抱える立場から **基地対策特別委員会** に所属し、そこで副委員長を拝命しました。

さらに、議会便りの編集や議会の広報活動をする **広報委員会** でも副委員長を担っています。

4. 議員としての活動

行政の勉強会や、都市再生機構や自衛隊・新日鐵君津製鉄所等の見学、会派や委員会による行政視察等で市勢や行政に精通するよう努力するとともに、市民の意見や要望を行政に伝えていきます。更に毎回の定例議会で個人質問に立ち、問題点の指摘や前向きな提言を発しています（裏面に詳細）。



5. 後援会の案内と入会のお誘い

内容が活動報告であっても、年賀状及び挨拶状を本人から郵送することは公職選挙法に違反するため、今後とも後援会より後援会員に対して活動の報告をさせていただきます。本書が届くことにお心当たりのない方は、恐れ入りますが下記まで連絡下さい。

また、近隣や知人で後援会入会希望者が居ましたら、氏名、住所、電話番号等をお知らせ下さい。連絡の方法は後援会事務所を訪問戴くか、郵送・電話報告、FAX、メール等の方法にてご連絡下さい。

住所 木更津市江川 847 、TEL 0438-41-1605 、FAX 0438-41-1606 、**メール** info@sinobu.com

6 . 定例議会での質問

当選後、近藤忍は全ての定例議会で市制改革のために質問を行いました。概要は次の通りです。

6月定例議会：「本市の地震災害対策について」

市の防災対策や本庁舎の耐震対策、及び本年から始まった学校耐震補強の問題点を質問しました。防災拠点となる市役所本庁舎の耐震対策が取られていないため早めに調査を進めることを求め、市内の住宅に対する耐震対策の推進も要望しました。さらに学校耐震補強工事の問題点を捉え、予算の効率的な執行と教育環境の整備を求めて学校再編議論を進めるよう要望しました。

9月定例議会：「産業の振興について、他大綱3点」

事業立地奨励金制度が財政に及ぼす問題、市民公募債発行上の諸課題、健康増進センターの運営、環境行政について質問しました。

大規模な事業所の立地に対して奨励金を多額に払うと交付税の削減となり財政に悪影響を生じる事を取り上げ、制度見直しへ向けた問題提起を行いました。

また不法投棄防止対策の強化と、現に存在する不法蓄積物を行政が代わりに処理する事について検討を求めました。



12月定例議会：「下水道の問題点について、他大綱2点」

200億円を超える公債残高と一般会計から年間15億円を越える補填を行っている下水道特別会計の問題や学校再編問題、入札制度の問題などを質問しました。

特別会計という目的に添うよう補助金に頼らず独立した会計で運営できるよう収入の増加と歳出の削減を目指すとともに市民にとって公平な整備が進むよう求めました。入札制度の問題では大規模工事がより安く落札されるよう低落札調査制度の導入を提案するなど、諸問題の指摘を行いました。

7 . 2008年の市政と近藤忍の課題

- ・ 2008年4月より新総合3カ年計画がスタートしますが、国の交付税改革で木更津市は大幅な予算不足となることが予想されています。行政執行の照査を行うとともに、当面の財政危機をより適切に対応していく方法について調査研究し提言します。
- ・ 財政危機で夢を失いそうな状況の中、木更津市の魅力を増やすことで一目を置かれる都市となり、企業誘致や住民の移住が促進されるような長期政策的について提案します。
- ・ 昨年の4校に引き続き多くの学校で学校耐震補強が予定され、さらに第一小学校は建替工事を開始します。工事の方法等が適切か注視するとともに、学校の再編問題に取り組み、さらには学校用地の処分の検討を進めます。
- ・ 金田の東西や千束台など区画整理事業の諸問題がクローズアップされる年になると思われます。それらについて技術者の視点を持ち、取り組んでまいります。
- ・ 基地対策特別委員会では基地周辺に広がる国有地を国の整備によって有効活用出来るよう検討しています。副委員長として江川総合運動公園の拡張整備等について行政に働きかけていきます。
- ・ 築地地区で年末に大型商業施設が開店予定ですから既存商店街の活性化が課題になります。また医師不足による中央病院の問題、高齢化や経済格差による福祉充実の問題、地域自治の在り方や学校教育問題など多くの問題が目白押しです。これらについては会派として問題の検討を進めることで、よりよい自治体へなるよう対応していきます。
- ・ 政治家の透明性が求められる時代です。引き続き、ホームページ（<http://sinobu.com/>）や、後援会報告で活動情報の開示を進めるとともに、市民の代理人として行政に働きかけていきます。

